

Forward

悩んでいる人がいたら、
まず始めてみてと
声を大にして伝えたい。—— H・T様(岩手県)

Q 交流電場腫瘍治療システムを説明された時の感想はいかがですか?

A 最初は、良い治療が出来たのだと、丁度良いタイミングで非常に運が良かったと思います。ただ治療そのもののイメージがつかなかったし効果があるのか不安はありました。自宅からビデオを持参し、アレイの交換手順について記録しました。

Q 治療を受ける判断はどのタイミングでしたか?

A 入院中に説明があって、退院するまでの間に治療を受け入れるか決めることになった。家族にも相談して、やらないで後悔するよりはまずはやってみる決断をした。決断までは時間はかからなかった。

Q 剃毛に対してどのように思われましたか?

A 放射線治療をした段階で脱毛していたので剃ることには抵抗がなかった。ただ、交流電場腫瘍治療を続けると髪を伸ばすことが出来ないとは思ったけど、それよりも生きたいという気持ちが強かったので、治療をしようと思った。

Q 剃毛が嫌なのでやらないという患者さんには?

A 勿体ないと思う。治療出来るタイミングが決まっているので、それならば始めた方が良いと思う。ただ、剃毛に抵抗があることは分かるような気もする。

いざ剃毛してみると意外と似合っていたので凄く喜んだ。見慣れると問題ない。外国の女優さんも剃毛しているケースもあり、女性の剃毛している姿も少し見慣れてきているのではないか。ウィッグを被れば全く気にならないし帽子を被れ

ば更に分からなくなるし、隠す方法はいくらでもあるので、是非治療を始めて欲しいと、悩んでいる女性に声を大にして言いたい。

Q 交流電場腫瘍治療前後における日常生活の違いはありますか?

A 行動範囲が狭まっていると思う。家事をしようと思うとずっとリュックをしようとしているので、肩も痛くなるし首も痛くなる。始めたばかりの時は、外に出るのが嫌だった。機械をしようとしているのも、コードが出ていているのも隠しきれないでの、周りの目が気になった。

1年たった今も気にはなるけれど、最初の頃と比べると気にならなくなつた。

Q 治療協力者との連携については、いかがですか。

A 主人が主に貼替を行っている。嫌がらずに苦にせず協力してくれていて、回数を重ねる毎に貼り方が上達し、褒められて更に上達するようになった。時間も掛けずに貼替も可能になって、経験を重ねることで自分(主人)でも色々工夫をするようになって、様々なケースに対応出来るようになってきた。回数を重ねることが大事だと思う。

今は主人しか貼れないでの、他の家族にも貼ってもらえるように出来るとよいのかなと思う。

Q 交流電場腫瘍治療に慣れるまではいかがでしたか。

A 心配性なのでアラームが鳴ると心配で不安になった。そんな時は誰かに相談出来ると良いなどは思っていた。1週間後にDSS^{※1}が来てもらえるのが待ち遠しかった。

Forward

Q 交流電場腫瘍治療で気になる点は?

A アレイを交換して着け始めの時に毎回少しピリピリする。スイッチを入れる時に必ず感じる。治療開始時の時もピリピリした。

アレイを剥がす時に皮がめくれることがあるので、良くなつてはめくれることを繰り返してしまう。

アレイをずらすにも、頭が小さくて限界があるので、頭が小さい人用のアレイがあると良いですね。

職場復帰で体を動かす仕事なので、機器を持ちながら治療継続が厳しくなるのが残念です。デスクワークなら良いのですが。

Q 交流電場腫瘍治療中でも旅行やレジャーは楽しめましたか?

A 一晩お休みして温泉に行きました。温泉に入る時に中が見えないキャップを被って大浴場にも勇気をもって入ってみた。

日帰りでは機器を付けたままドライブに行ったり、昨年は入院していてお花見にも行けなかつたので、今年はお花見にも行けて春先は出かけることも多かつた。

ただ、バッテリーの本数が決まっているので、時間内に帰つてこれる形になるので、もう少し持ちが良くなるといつう。

新幹線などで電源があるところでバッテリー自体が充電できるようになると良いです。充電器を持ち運ぶが難しいので…。アレイが白色から肌色になったのは感激しました。

Q DSSとのやり取りはどのようにおこなっていますか?

A 外来でお会いすることが多い。電話で約束して会う日を決めている。

私が細かいことを気にして質問したり、困つてることを相談した時には丁寧に答えて下さり、とても頼りになる存在です。



患者様と先生が
実際にお話して
いるところ

Q 今後、交流電場腫瘍治療を受ける方へアドバイスがあればお願いします。

A 悩んでいる方には、まず始めて欲しいなと思う。決められたタイミングでしか始められないで、あの時やれば良かったと思うよりもやってみてダメならやめればいいという気持ちで、是非是非機会を逃さずに始めてもらえるといいな。

最初に始めれば一度止めても、後で再開出来るのでそのためにも是非初回から治療をしてほしい。

治療している人のネットワークがやっぱり欲しい。治療を続けている人の中では先輩になってきてるので、何かアドバイスが出来ることもあると思う。

バッテリー切れなどアラームが鳴らないか常に気になつていたが、何かあればアラームが教えてくれると大らかな気持ちで今では気にせずに生活出来るようになった。

最初のころは本当に不安で仕方ないので、相談出来る場が欲しい。

Q これからしてみたい事は何ですか?

A 旅行にいきたいですね。※2 日本全国を主人と一緒に車で泊まりながら旅行にいきたいですね。

Doctor's Comment

東北大学病院 脳神経外科 齋藤竜太先生

Q 患者様に治療をご説明される際、どのような点に注意(意識)されますか?

A 様々な薬剤トライアルが行われていますが、有効性を示したデータはほとんどありません。その中で、Novo-TTFは試験成績として良いデータが出ており、やってみる価値はあるのではないかという話をしています。

やってみてどうしてもダメならば止めることも出来るので、まずは少し頑張ってみましょうという話をしています。

※1 DSS…デバイス・サポート・スペシャリストのことで機器の取扱い専任者

※2 治療を続けながら旅行することも可能です。アレイ貼付のまま飛行機に搭乗可能ですので、事前に航空会社へ連絡をしてください。